

建築に関する総合的な研修
(公社) 兵庫県建築士会青年委員会

手描きパースセミナー

パースをもっと身近に！楽描きで学ぼう！

日 時：令和6年2月17日（土）13：00～16：30

場 所：兵庫県民会館 902 号室

参加者：17 名（士会員：11 名、非会員：1 名、学生 5 名）

昨年に引き続き、今年で2回目となる実習形式による手描きパースセミナーです。今年ではデザイナー・イラストレーターの山本一身氏をお招きして、「楽描き」をテーマにスケッチからパステル、コピックを中心とした着彩までを楽しく学びました。

今回のセミナーは大きく分けて3部構成でした。第1部はウォーミングアップとして自由にスケッチを行いました。第2部ではコピックやパステルで着彩する方法を学びました。第3部ではいくつかの単純な形状の立体物を建築物に見立てて、歩道や植栽など風景を描き込むことで、スケールを与え、着彩することで楽しい雰囲気のパースを完成させました。

第1部のウォーミングアップでは、30分程度時間が与えられましたが、特にテーマはなく、自由に描き、着彩までを行いました。与条件の無い状態で描くということで、逆にとっかかりがなく、始めはあまり手が動きませんでした。時間の経過とともに参加者各々が自由に楽しく描いているようでした。

第2部では山本氏から室内の内観パースが白黒の状態を与えられ、パステルやコピックを使って着彩していく方法を学びました。天井や壁面など広い面積を着彩する場合や照明効果についてはパステルを使った表現を、コピックで塗り重ねることで、写り込みや影などの表現を学びました。



山本一身氏による講義の様子



第1部のスケッチに取り組む様子

第3部では直方体や円錐などいくつかのあらかじめ描かれた立体物を中心に、歩道や植栽、立体物に質感を加えることで、スケールが与えられ、パースになっていきます。単なる2次元の図形の集合だったものが、スケールや奥行きを与えることで、いつの間にか楽し気なパースが完成していました。

昨年のパースセミナーは厳密なパースの作図方法を中心に学びましたが、今年は楽しく自由に描くこと、パステルやコピックによる着彩方法の習得に重点を置いたセミナーとなりました。

参加者の中には小学校低学年の子供がいましたが、着彩を楽しんでいるようでしたので、幅広い年齢層に対応できたのではないかと感じ、次年度以降も続けていきたいと考えています。



参加者全員で集合写真

青年委員会 委員長 高麗憲志